

未来に向かって伸びる鶴嶺の子

鶴小だより 12月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 大久保仁晶
令和元年11月29日発行

鶴嶺通りの登校の様子を見て思うこと

朝、鶴嶺八幡宮の太鼓橋で登校指導を行っています。子どもたちを見送って、今朝もまず無事登校できたと思うと、本当にほっとしています。一方、登校時に気になる点がいくつか見られます。

- ・歩道を走る子、また急に止まって後ろの子がぶつかりそうになる子。(特に信号の点滅時に。) また、広がって歩く子。
→歩道は、鶴嶺小児童だけが使っている訳ではないことをもう一度考えましょう。
- ・歩道の車道側を歩く子。前の子を追い越すときに、車道にはみ出ている子。縁石に乗っている子。
→大変危険です。歩道いっぱい広がって歩くことはやめましょう。
- ・下を向いて歩いている子。信号でも、友達についていき、自分の目で確認していない子。
→頭を上げて、自分の目でしっかり確かめて横断しましょう。

通学路調査では、半数の児童が太鼓橋の信号を利用しています。なお、下校時は西側から東側に向かう自動車の信号の方が長く青になっています。片方が赤になって車がとまったからと横断してはいけません。実際危険な場面も見られています。自分の目で確認しましょう。

鶴嶺通りの朝の様子を述べましたが、他の通学路でも同様な場面があるのではないかと思います。交通安全について、再度各家庭でも話ししていただくようお願いいたします。また、日暮れが早くなってきました。放課後も歩くこと、自転車に乗ること、十分に気をつけてほしいと思います。あわせて、見守ってくださる地域の方や保護者の皆さんに、しっかりとあいさつができるとうれしいですね。

平成31年度全国学力学習状況調査

平成31年4月に小学校6年生を対象に実施した、全国学力学習状況調査の本校の結果について分析を行いました。なお、6年生には授業の中で各自の結果を配付しています。

【国語・算数より】

- ・国語では、時間が足りなかったのか、無解答で終わってしまった問題がいくつか見られました。
- ・算数では、台形、棒グラフの問題に相当数の児童がおおむね理解していました。一方、計算の決まりなど、順序でうっかりミスも見られました。

【児童質問紙より】

- | | | |
|------------|---|-------------|
| プラスの方向に特徴 | ・朝食を毎日食べている | ・いじめに対する正義感 |
| マイナスの方向に特徴 | ・学校の時間以外に勉強をする | |
| | ・国語の授業で、文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な話や文を見つけたり、文章や段落同士の関係を考えたりしながら読む。 | |

調査で計れるのは、学力の一部ですが、本校の児童の学習・生活の実態をもとに、今後の授業づくりや生活指導につなげてまいります。